

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回豊川警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年12月7日（木） 午後3時から午後4時57分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>豊川警察署講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員 伊藤正幸会長 廣田篤副会長 及部登代子委員 竹花俊二委員 村上幸治委員 櫻井智科子委員 竹本智委員 SUZUKI MARY MARIE委員</p> <p style="text-align: right;">以上8名（定数10名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員 石川署長 鞠川副署長 近藤警務課長 與語会計課長 山本生活安全課長 田中地域課長 増田刑事課長 塩原交通課長 秋吉警備課長 安部警務課長代理</p> <p style="text-align: right;">以上10名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	交通死亡事故など重大事故の発生抑止対策 ～ 年未年始における交通事故防止対策について～
答 申 等 の 概 要	<p>1 車両対策 (1) 「16時からライト点灯」を各団体を通じて啓発。 (2) インパクトのある「飲酒運転根絶」ポスターを飲食店等へ掲示依頼。</p> <p>2 自転車対策 「ヘルメット着用について」高校生に意識調査を実施。</p> <p>3 歩行者対策 (1) 「ヒヤリハット」や「危険予知訓練（KYT）」等の体験を基にした交通安全教室の実施。 (2) 抜け道対策</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月9日

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	前回答申に対する具体的施策の推進状況（警務課長代理説明）
	(1) 諮問事項
	在留外国人の安全確保のための推進方策
	(2) 答申事項
	ア 自治体などと連携した在留外国人の居住実態把握活動の推進
	イ 警察活動に関する情報発信活動の強化
	ウ 複数の言語に対する対応の充実・強化
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 豊川市役所との連携
	豊川市役所市民課へ赴き、在留外国人の居住実態についての情報共有を行った。今後は更に連携を強化し、在留外国人がより安心して暮らせる安全な街づくりを推進していく。
	(イ) 巡回連絡時における外国人世帯の把握活動の強化
	巡回連絡では、外国人世帯に対して多言語資料（10か国語）や翻訳アプリを活用して実態把握活動を推進している。
	イ 答申事項イについて
	(ア) 豊川市日本語スピーチコンテストでの警察講話の実施
	令和5年10月29日に勤労福祉会館で行われた第14回豊川市日本語スピーチコンテストへ赴き、来場した外国人に対し、自転車乗車時のルール、在留カードの携帯等についての講話を行った上、啓発品を配布
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
した。	
(イ) 多文化共生イベントでの警察広報活動の実施	
本年12月10日に勤労福祉会館で開催される「ワールドフェスティバル2023」に赴き、白バイ等の警察車両の展示を行う他、外国人の若者人材育成座談会に参加して交流を深めるとともに、警察情報の発信活動を行う。	
ウ 答申事項ウについて	
コミュニケーション支援ボードの活用	
警察署受付窓口に、警察で取扱いが多い項目について6か国語に対応したボードを設置し、スムーズな窓口対応に努めている。また、ポケットサイズのボードを現場対応する地域警察官が携帯し適切な対応に努めている他、現場対応時に使用する機器には翻訳アプリが搭載されており活用している。	
3 諮問	
(1) 諮問事項	
交通死亡事故など重大事故の発生抑止対策	
～ 年末年始における交通事故防止対策について～	
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長）	
10月末時点で、豊川市内で発生した交通事故死者数は8人を数え、愛知県内の警察署管内で最も多くなっている。この時期は日没時間も早く周りの見通しが悪い状況が続き、さらには朝夕の冷え込みによる路面の凍結が予想され、スリップ事故も懸念されるなど、交通事故の発生要因が重なる	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
時期となる。	
豊川警察署管内では、12月は月別の交通事故発生件数が最も多い月でもある。これ以上悲惨な交通死亡事故を発生させないために、対策が必要となる。	
4 協議	
委員	・ 豊川市民に向けた啓発活動が多いと感じるが、実際に豊川市内で交通事故を起こした人は豊川市民ではない人が多いのではないかと。広い範囲での情報発信が必要だと思う。
委員	・ 今年発生した豊川市内の交通事故にはどんな傾向があるのか。
警察	・ 1月、2月は新型コロナウイルスの影響もあり発生が少なかったが3月下旬ころから増加傾向にある。南大交通番管内の交通事故が増えている。
委員	・ 私の勤務する小学校の周辺は朝夕の交通量が非常に多い。周辺道路は、朝夕の渋滞を回避するための抜け道として通過する車が多く、そのほとんどが地元住民ではない。
委員	・ 歩道も十分に確保できていない場所もあり危険だと思う。事故に会わないようにする術を身に付ける講習会などを開催し、自分の身は自分で守らなければならないということを覚えなければならない。
委員	・ 車の運転手は疲れていると思う。長時間の運転は事故が起こりやすい。運転手が休憩できるスペースがあると良い。
委員	・ 年末は気ぜわしいことから、運転が荒くなる人もいて事故につながる。高齢者への指導、お酒を提供している飲食店への指導、高齢
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	者を見かけたらスピードを落としてもらうための指導を強化してもらいたい。
委員	・ パトロールを強化するのが効果的だと思う。
警察	・ 豊川署では10月から夕方の2時間、パトカーを5台増やしてパトロールを強化している。
委員	・ 赤色灯の効果は高いと思う。飲酒運転をする人は罪の意識がなくやっていると思う。
委員	・ 飲酒運転の情報がもらえるように依頼するポスターなどを企業や店舗に配布するのもよいと思う。
委員	・ 運輸業界では11月中旬から繁忙期に入る。ドライバーに対しては世の中皆が急いでいる。それに付き合わずに冷静に走ってほしいと教養をしている。
委員	・ 長時間の運転が事故の要因であることは皆が理解していると思う。企業単位で意識を変えることができるような教養が必要なのではないかな。
委員	・ 業界ごとにある協会などの大きな組織に周知できないものなのか。
委員	・ 業界ごとに事故防止のポイントがあると思う。早い時期から12月に的を絞って準備しなければならないと思う。
委員	・ 行政との情報共有も重要だと思う。
委員	・ 商工会議所が毎月会員に郵送する会報に、交通事故防止に関する情報を同封することもできる。速度取締り予定を大々的に告知するのも効果的だと思う。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 早めのライト点灯と言われているが、具体的に「午後4時になったらライトを点灯しよう」のような広報が必要である。
委員	・ ハイビームで走ってくる対向車の中には、すれ違いの直前までロービームに切り替えない車が出て危険を感じる。
委員	・ 飲酒運転が多い時期であるが、自分自身が飲酒した店で車で来たのかどうか聞かれたことがない。インパクトのある飲酒運転根絶のポスター等の掲出をもっと依頼した方がよいのではないか。
委員	・ 横断歩道を渡る時のルールを、小学生に対してはどのように教えているのか。
委員	・ 小学校では歩行者用信号が点滅したら止まるように指導している。
委員	・ 信号を見ることも大切だが、周りをしっかり確認して車の運転手と目が合うくらいで渡ってほしい。
委員	・ 子供の危険回避の能力も下がってきている。「ヒヤリハット」や「危険予知訓練（KYT）」等危険を体験できる教養が必要だと思う。
委員	・ 子供たちが信号のない横断歩道を渡ろうとするとき、手を挙げて横断する意思を示してほしい。子供たちの安全にもつながると思う。
委員	・ 学校の周りの道路で通学時間帯の通行禁止を増やして、通学路を車が少ない状況にできないのか。
委員	・ 自転車のヘルメット着用率はどの程度なのか。
警察	・ 高校生はほとんど被っていないのが現状である。 (高校生に対する指導を強化しているところである。)
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ ヘルメット着用推進をお願いした。学校単位で着用率を競わせてもよいのではないか。
委員	・ 高校生に対する意識調査も効果的ではないか。
委員	・ 歩行者や自転車に乗車する際に反射材を着用するよう啓発活動を強化してほしい。
委員	・ 車のヘッドライトの早めの点灯を呼び掛けることが必要だと思う。
委員	・ 午後4時から点灯する等具体的な時間を示した方がいい。
委員	・ いつでも交通安全講話を警察に依頼できるような市民が遠慮しなくていい環境が欲しい。
5 答申	
(1) 車両対策	
ア	「16時からライト点灯」を各団体を通じて啓発。
イ	インパクトのある「飲酒運転根絶」ポスターを飲食店等へ掲示依頼。
(2) 自転車対策	
	「ヘルメット着用について」高校生に意識調査を実施。
(3) 歩行者対策	
ア	「ヒヤリハット」や「危険予知訓練（KYT）」等の体験を基にした交通安全教室の実施。
イ	抜け道対策
6 その他	
次回、第1回を令和6年2月9日とする。	
記録者	警務係長